

1. 整備計画

計画の名称	静岡県における安全安心で魅力ある県土づくりを目指した浸水対策の推進(防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和3年度	交付対象	静岡市、富士市、沼津市、吉田町、袋井市、静岡市、牧之原市、藤枝市、焼津市、裾野市、伊豆市、高田市、松崎町、高伊豆町、伊東市、下田市、河津町、南伊豆町、伊豆の国市、川根本町、小山町
計画の目標	近年、局所的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)が頻発していることに加え、地球温暖化に伴う異常気象化が顕著に進行するなどの被害リスクの増大に対し、地域と連携・協力しつつ河川整備を進めることで、水害に強く、美しい地域づくりを行うとともに、安全安心で魅力ある県土づくりを推進する。		

計画の成果目標(定量的指標)	①大雨・洪水・高潮・津波等に起因する人的被害を防ぐ。(毎年度死者数0人を維持) ②河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所(延長130.3km)のうち、整備が完了した延長を39.5km(H28末)から52.8km(H33末)に増加する。 ③水害の危険を周知する河川等における監視体制を強化する。(危機管理型水位計設置河川10河川→105河川) ④水位情報周知河川等における監視カメラによる映像情報収集河川(91河川)のうち、合意された高さを満たす河川(堤防、水門)を25河川(H28末)から30河川(H33末)に増加する。 ⑤レベル1津波に対し、防護が必要な河川(91河川)のうち、合意された高さを満たす河川(堤防、水門)を25河川(H28末)から30河川(H33末)に増加する。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28末)	中間目標値 (R末)	最終目標値 (R3末)	
① 風水害による死者数	0人		0人	
② 河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所(延長130.3km)のうち、整備が完了する延長	40km		53km	
③ 水害の危険を周知する河川等における危機管理型水位計設置河川	0河川		105河川	
④ 水位情報周知河川等における監視カメラによる映像情報収集河川	0河川		106河川	
⑤ 地域の合意形成に基づく津波対策施設(河川)の高さの整備	25河川		30河川	

全体事業費	合計(A+B+C)	34,054百万円	A	33,789百万円	B	0百万円	C	265百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.78%
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)		事業内容(延長・面積等)		市町名	全体事業費(百万円)	備考		
河川		太田川広域河川改修事業		掘削・橋梁(L=1,000m)、河道掘削、堤防舗装、樹木伐採等		袋井市、磐田市	3,840			
事業数		駿河湾地区地震・高潮対策河川事業(坂口谷川)		水門工(n=1式)		牧之原市	1,000			
59		遠州灘地区地震・高潮対策河川事業(馬込川)		設計、水門工(n=1式)		浜松市	1,729			

2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)

計画の移行なし	○	26	△	31	-	備考	計画の移行あり	●	0	▲	2
---------	---	----	---	----	---	----	---------	---	---	---	---

3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備の推進により、水害に強く、美しい地域づくりと、安全安心で魅力ある県土づくりを推進することができた。 河川整備を推進したことで、風水害による死者数0を達成した。 水位計や監視カメラの設置により、河川水位状況や現地の映像を迅速、正確、安全に収集することができるようになり、洪水に対する県民の安全、安心度が向上した。 第4次地震被害想定に対する河川の津波対策整備を推進したことにより、地震・津波により生じる被害への減災効果を向上した。
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①(風水害による死者数)	最終目標値	0人	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り進捗している。
		最終実績値	0人		
指標②(河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所(延長130.3km)のうち、整備が完了する延長)	最終目標値	53km	目標値と実績値に差が出た要因	未着手区間に新規着手したことで、設計・用地調査等を実施中であり、工事未着手のため計画通りの事業進捗が図られなかったことから、目標の整備延長を下回った。今後工事着手に至ることで、河川整備の推進に取り組んでいく。	
	最終実績値	51km			
指標③(水害の危険を周知する河川等における危機管理型水位計設置河川)	最終目標値	105河川	目標値と実績値に差が出た要因	計画以上に進捗した。	
	最終実績値	106河川			
指標④(水位情報周知河川等における監視カメラによる映像情報収集河川)	最終目標値	106河川	目標値と実績値に差が出た要因	計画以上に進捗した。	
	最終実績値	118河川			
指標⑤(地域の合意形成に基づく津波対策施設(河川)の高さの整備)	最終目標値	30河川	目標値と実績値に差が出た要因	計画以上に進捗した。	
	最終実績値	37河川			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	・「多自然川づくり」による景観や生態系の配慮を行なうとともに、良好な河川空間を創出した。
----------------------------	--

4. 今後の方針等

引き続き、地権者との合意形成に努めながら、後継の計画において各種事業の進捗を図り、安全安心で魅力ある県土づくりを目指した事前防災・減災対策を推進するものとする。

(1) 事業の目的

近年、局所的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）が頻発していることに加え、地球温暖化に伴う異常気象化が顕著に進行するなどの被害リスクの増大に対し、地域と連携・協力しつつ河川整備を進めることで、水害に強く、美しい地域づくりを行うとともに、安全安心で魅力ある県土づくりを推進する。

(2) 指標

- ①大雨・洪水・高潮・津波等に起因する人的被害を防ぐ。（毎年度死者数0人を維持）
- ②河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所（延長130.3km）のうち、整備が完了した延長を39.5km(H28末)から52.8km(H33末)に増加する。
- ③水害の危険を周知する河川等における監視体制を強化する。
- ④水位情報周知河川等における監視体制を強化する。
- ⑤レベル1津波に対し、防護が必要な河川（91河川）のうち、合意された高さを満たす河川（堤防、水門）を25河川(H28末)から30河川(H33末)に増加する。

指標の達成状況

- ①最終目標値（0人）を達成した。
- ②最終目標値（52.8km）に対して最終実現値（51.0km）と目標を達成できなかった。
- ③最終目標値（106河川）を達成した。
- ④最終目標値（105河川）を達成した。
- ⑤最終目標値（30河川）を達成した。

(3) 指標に関連する実施事例

A03-024 (二) 須々木川（牧之原市）（水門改良）



須々木川水門

水門改良によりレベル1津波に対して、安全安心で魅力ある県土づくりを推進することができた。

A08-014 情報システム構築



水位計・監視カメラ

A03-002 (二) 太田川（磐田市・袋井市）（河道拡幅）



和口橋橋梁架替

河川整備により水害に強く、美しい地域づくりと、安全安心で魅力ある県土づくりを推進することができた

(4) 定量指標以外の効果発現状況

「多自然川づくり」による景観や生態系の配慮を行なうとともに、良好な河川空間を創出した。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、後継の計画において各種事業の進捗を図り、安全安心で魅力ある県土づくりを目指した事前防災・減災対策を推進するものとする。

計画の名称	1 静岡県における安全安心で魅力ある県土づくりを目指した浸水対策の推進（防災・安全）	
計画の期間	平成30年度 ～ 令和3年度（4年間）	交付対象 静岡県, 富士市, 沼津市, 吉田町, 袋井市, 静岡市, 牧之原市, 藤枝市, 焼津市, 裾野市, 伊豆市, 島田市, 松崎町, 西伊豆町, 伊東市, 下田市, 河津町, 南伊豆町, 伊豆の国市, 川根本町, 小山町

静岡県

